

ふるさと探訪

第73回 伊曾の橋



国道11号の加茂川橋から上流方向600メートルほどの所に、橋長207メートル・有効幅員3メートル、自転車・歩行者専用橋があります。「伊曾の橋」です。

かつてその場所には「一銭橋」と呼ばれた木橋が架かっていましたが、台風が襲来すると毎年のように流失し、地域の人たちは大変不便な思いをしていました。

市では、コンクリート製の沈下橋建設を検討したり、工業用水道の水管橋への歩道併設を県に要望したりしましたが、河川管理上の問題からいずれも実現しませんでした。

長年の努力が実り昭和58年に完成した「伊曾の橋」には、鉄琴の鍵盤が欄干に取り付けられており「ふるさと」や「さくらさくら」を奏でられることから、メロディー橋



欄干の鍵盤を叩くと川面に涼やかなメロディーが響きます

とも呼ばれています。桜の名所である武丈公園の近くにあり、多くの人に親しまれているこの橋は、昭和61年に建設省（現・国土交通省）の「手づくり郷土賞・ふるさとが誇りとする橋」の選定を受けています。



子どもの頃、恐々渡った思い出のある「一銭橋」(写真上)と通学や散歩など多くの人に利用されている「伊曾の橋」